

2025 年 10 月 31 日

一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会

理事長 上妻 謙 先生 御侍史

浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会

委員長 重松 邦広



浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会の業務休止・解散について

謹啓

清秋の候、貴学会におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、本委員会に格段のご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本委員会は、2016 年に本邦で初めて浅大腿動脈ステントグラフトとして、日本 Gore 社からバイアバーンステントグラフトが上梓されるにあたり、日本脈管学会・日本血管外科学会・日本心血管インターベンション治療学会・日本インターベンショナルラジオロジー学会の 4 学会を関連学会として、各学会から選出された委員により、適正使用指針並びに実施基準の策定および運用を行う目的にて設立されました。

発売後 9 年が経過し、すでに国内で十分な症例数の浅大腿動脈ステント留置術が実施されていること、また関連 4 学会で作成した適正使用指針を遵守することにより、安全に治療が行われる状況にあることから、適応判定および調査体制については学会実施基準として不要と判断し、発売後 10 年にあたる 2026 年 10 月 1 日付けでの認定を最後に、実施医並びに実施施設の認定業務を休止することを決定いたしました。

認定業務休止により、当該治療にあたり実施医認定資格並びに実施施設認定資格の保有を必要とする期限は 2026 年 10 月 31 日までとなり、2026 年 11 月 1 日以降は、適正使用指針を遵守することにより、資格保有を必要とせずに治療可能となります。

また業務休止後には、残務処理の期間を置き、2027 年 6 月末日を以て本委員会を解散することも決定いたしました。

本決定につきまして、貴学会会員の皆様にもご周知いただきますようお願い申し上げます。

貴学会の益々のご発展を祈念するとともに、今後とも当委員会へのご指導を賜りますようお願い申し上げます。

謹白